真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	汚水管渠整備促進事業		担当課・係	上下水道部　下水道課　工務係
政策名　No	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	5	安定した上下水道サービスの提供		

成果指標 名称	単位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の普及率	%	88.3					93.0
下水道事業の経費回収率	%	87.6					100

事業内容

本市の公共下水道は、生活環境の改善、併せて公共用水域の水質保全を目的としている。汚水整備については、昭和48年1月に事業認可を得て事業に着手し、昭和58年3月に一部地域（130ha）の供用を開始して以来、順次処理区域の拡大を図っている。
現在の事業計画面積は1,324.1ha、計画処理人口は45,120人で、令和6年度末では1,272.1haが整備され、整備率は96.1%となっている。

令和6年度は田町地内と下大沼地内で管渠工事を実施し、汚水管渠の整備を促進した。

前年度の課題（Check）

【課題】
1.未普及地区の解消を図る取り組みが必要である
2.未整備地区については地域の要望に柔軟に対応するとともに、地域の実情に応じた整備手法を検討し、効果的な整備を進めていく。

7年度振り返り

【1】実績（Do） 7年度に実施した事業
【実績】
公共下水道汚水管渠整備工事下大沼地区6-1号　L=23.0m
公共下水道汚水管渠整備工事石島地区　7-1号　L=19.9m

【2】結果と課題（Check）
【結果】
未整備箇所の要望に対応し、整備率向上を図った。
【課題】
未普及地区の解消を図るためには、整備手法の検討が必要である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
令和８年度に実施する全体計画、事業計画の変更業務において、計画区域の見直しを行う。具体的には、未整備区域のうち主に市街化調整区域の縮小を検討し、効率的な整備を推進していく。

(2) 長期的な計画で検討すること
引き続き未整備地区については地域の要望に柔軟に対応するとともに、地域の実情に応じた整備手法を検討し、効率的な整備を推進していく。